

14 セット釣り1 暖かい時期のセット釣り

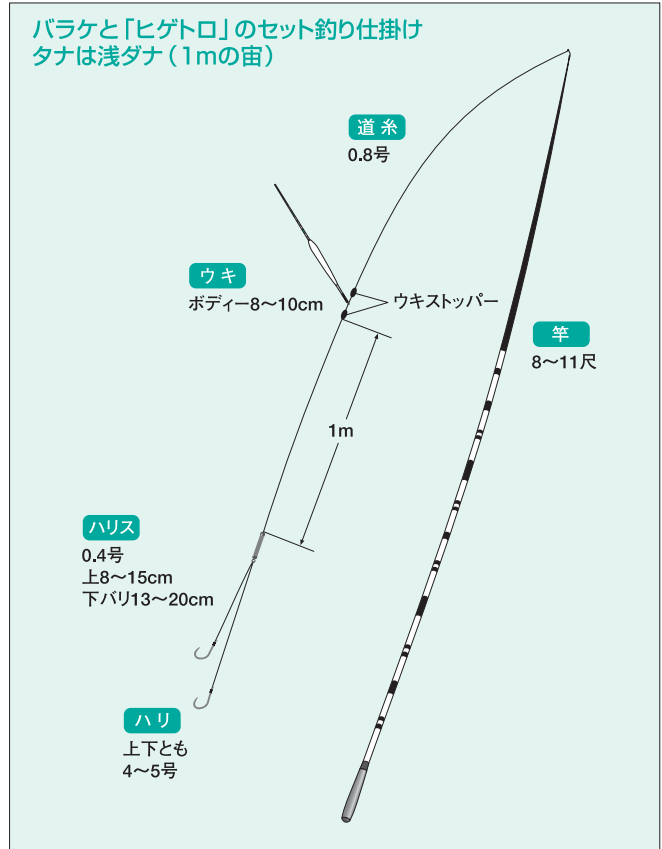
上バりにへら鮒を寄せるためのバラケエサを付け、下バりに食わせるためのくわせエサを付けて釣ることを「セット釣り」といいます。



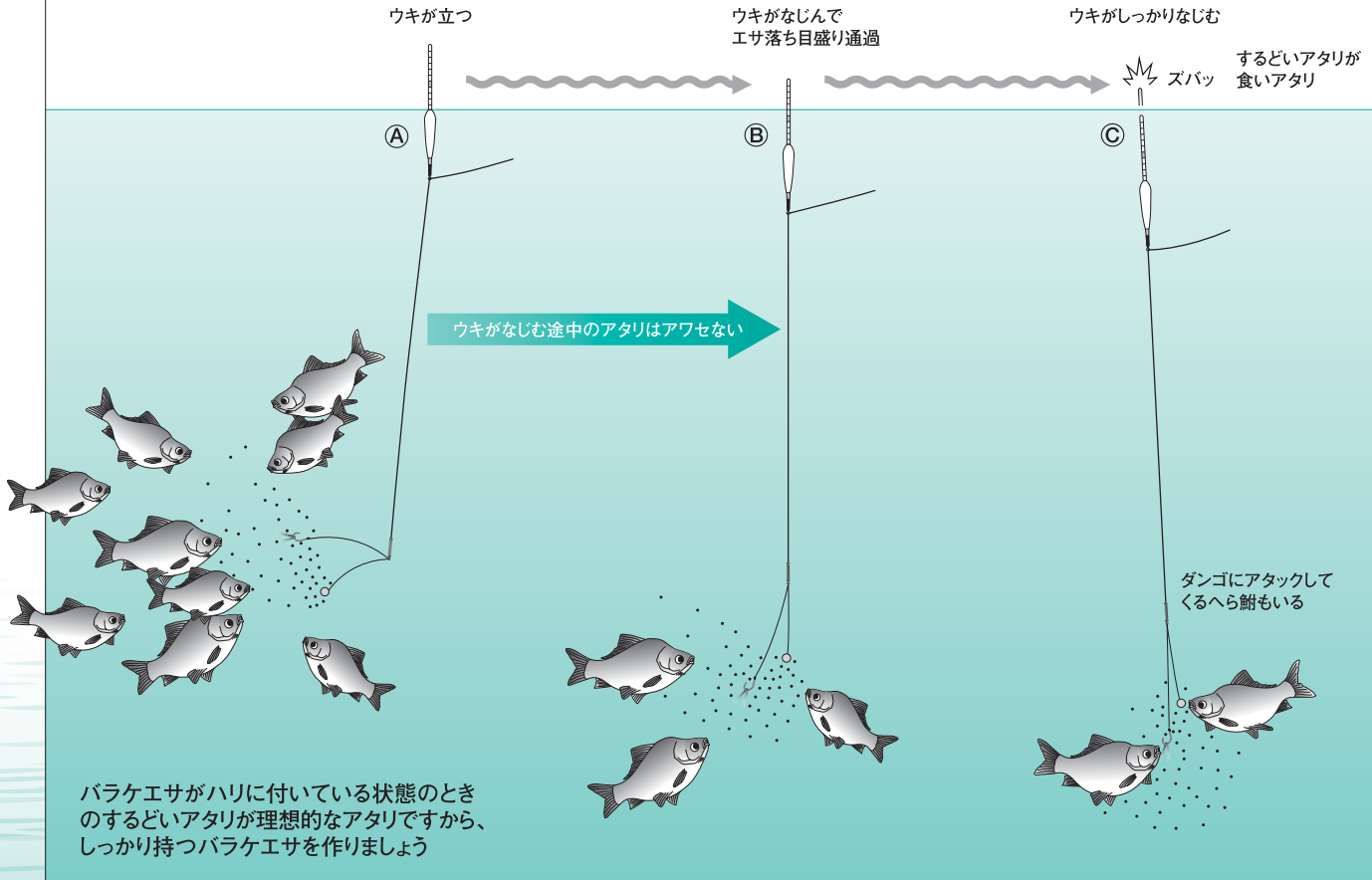
バラケと「ヒゲトロ」のセット釣り

暖かい時期は、へら鮒の活性は高く食欲旺盛なのでダンゴに興味があります。しかし、休日の混雑などで食いが渋くなってしまうときは、下バりにトロロエサを少量ちよん掛けした「ヒゲトロ」のセット釣りに切り替えると効果的です。

- 使用する竿、ウキ、道糸などの仕掛けは両ダンゴの釣りと同じものを使います。
- バラケと「ヒゲトロ」のセット釣りの特徴は、短いハリスです。基本的な長さとして、上バリ8～15cm、下バリ13～20cm。段差は5～7cm程度にします。



バラケと「ヒゲトロ」のセット釣り アタリの取り方





「ヒゲトロ」のバラケエサの作り方



●GTS

エサのまとまりがよく、適度にバラけてへら鮎を寄せ、しっかり芯残りして明確な食いアタリを出します。また、単品でも浅いタナからチョーチン釣りまで対応するエサが簡単に作れます



●特S

養殖魚に対する集魚力が抜群で、適度な重さがウズズリを抑えタナを安定させます

「ヒゲトロ」のセット釣りに使うバラケエサは、へら鮎の活性が高くダンゴに興味がある時期なので、両ダンゴの場合と同じエサでOKです。



①「GTS」「特S」を計量カップですり切り2カップずつ計り、エサボウルなどの容器に入れてます



②粉をよく混ぜ合わせます



③次に水1カップを加えます



④水を加えたら全体的にムラがないように混ぜます。このとき、手を熊手状に開くと均一に混ぜ合わせることができます



⑤バラケエサのできあがり。このエサは、両ダンゴとしても使用できます



⑥1円玉より少し小さめくらいを目安にして丸め、ハリを押し込みハリの子モチをギュッと加圧します



くわせエサ「ヒゲトロ」の作り方



●ヒゲトロ

セット釣りのくわせ用トロロエサで、トロロの繊維は太くしっかりしたものを厳選しています。水に浸してハリに引っかけるだけでOK。休日の混雑時や食い渋りに効果を発揮します



①トロロの新鮮さを保つ分包入り。使いきりで便利です



②分包からトロロを出し、皿状の容器にほぐして入れます



③トロロ全体にしみ込む程度の水をかけます



④トロロのエサ付けは、ハリに引っ掛けてそのまま使います。長さは3~4cmくらいが目安です



しっかりウキがなじんで、じわじわ上がってくるようなバラケ方がベストです。くわせエサの「ヒゲトロ」はバラケの煙幕の濃い部分に入っています。バラケたエサを食べにきたへら鮎が、吸い込みやすい「ヒゲトロ」を一緒に吸い込みます



ONE POINT LESSON



暖かい時期のセット釣りバラケエサ

●「パウダーベイトスーパーセット」5カップ+水1カップ(1カップ=200cc)